

平成31年度第3回理事会議事録 (正)

一般社団法人 海洋会

1. 日 時 令和元年11月22日(金) 14:00~16:00

2. 場 所 東京都千代田区麴町4-5 海事センタービル401号会議室

3. 議 案

第一号議案 : 東京海洋大学海洋資源環境学部同窓会の体制についての大学提案  
(令和元年10月17日付)とこれに対する海洋会の対応について

第二号議案 : 海洋会創立100周年記念事業「本部・支部主催祝賀会」費用の  
拠出について

第三号議案 : 海本規5-04 一般社団法人海洋会旅費規程の改定について

4. 報告事項

(1) 海洋会創立100周年記念事業特設委員会の活動報告

(2) 横浜海洋会館3階談話室自主運営移管後の上期収支報告

(3) 国内支部・海外海洋会からの要望・提案について

(4) 国内債券(BNYメロン・日本株式ファンド)売却報告

(5) 神戸大学体育会オフショアセーリング部ロシア遠征支援報告

「ロシア開催(8/12-17): Youth Match Racing World Championship2019  
日本チーム代表に選抜」

(6) 平成31年度上期収支決算報告

(7) 平成31年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告

5. 出席者(50音順、敬称略)

理 事

石津 則昭	石田 隆丸	岩本 勝美	江川 央生	遠藤 充
掛谷 茂	葛西 弘樹	金田 章治	小島 茂	佐田 昌弘
佐藤 元洋	長南 賢司	百目鬼 健	浪岡 哲史	橋本 正孝
藤井 照久	平塚 惣一			

監 事

岡本建之介

桑田 守

オブザーバー

国土交通省海事局海技課 船員教育室長 川路 勉

6. 議事の経過及びその結果

(1) 事務局から、本日の理事会は、理事定数20名のところ出席者18名で、定款

38条の規定により本会は成立していること、岡本建之介監事並びに桑田守監事が出席されていることが報告された。

- (2) 定款39条の規定により会長が議長となり議事を進めた。まず、議事録について議長から「法令の定めるところにより、出席した代表理事及び監事が議事録に記名押印することが義務付けられている。なお、押印については、事務局が作成した議事録(案)をメールで送付するので確認頂き、必要箇所を訂正のうえ返送願ひ、事務局で議事録を作成させる。その後議事録(正)を郵送するのでご確認戴き、記名押印ののち返送戴きたい」と説明した。

### (3) 議案の審議

配付資料の確認後、以下の通り議案が審議された。

第一号議案 事務局から『配付資料-1:「海洋資源環境学部同窓会の体制について(案)」を示し、東京海洋大学海洋資源環境学部は、2017年4月に新入生を受け入れ、2.5年が経過した。来年には、就活が始まり、2021年3月卒業となる。これまで、同学部の同窓会がないまま推移しており、大学としても早急に同窓会を作ってやりたいとのことで、10月25日竹内学長と中里総務部長が海洋会を訪問した。当方は、平塚会長と佐田専務理事が対応した。席上、竹内学長は、訪問の目的を以下の通り説明した。

- ・これまで、大学、楽水会、海洋会の3者で話し合ってきたが、結論が出ないまま、今日に至っている。
- ・この度、大学として、以下の4案を検討した。
  - ① 2つの同窓会を統合し、単一の同窓会とする。
  - ② 学部ごとに同窓会を作ることとする。大学院生は各専攻と連動した学部にも所属する。
  - ③ 越中島キャンパスに海洋会を、品川キャンパスに楽水会をそれぞれ置くこととし、大学院生についても上記と同様とする。
  - ④ 新学部の学生は、準会員時には楽水会に所属し、正会員時には本人の判断で、どちらか、一方、あるいは両方に所属することができるものとする。
- ・検討の結果、上記の①～②はハードルが高く取り下げとし、③あるいは④を提案したい。就いては、この提案について審議いただき、回答してほしい。

上記の提案を受け、11/8に企画委員会、11/18に会務委員会を開催し、本件の審議を行い、配付資料-2(海洋大 海洋資源環境学部同窓会の体制について(大学提案))に対する海洋会の対応について(回答))に示す通り、海洋会としての対応について以下の通り、意見集約した。

- ・大学提案③:現時点では、当提案は受け入れられない。今後の検討課題とする。
- ・同上 ④:海洋会としては、当提案は受け入れられないが、海洋会としての

代替案を示す。

- ・海洋会（代案）：入学時点から平等に入会希望を募る。どちらの同窓会にも自由に入退会できるものとする。

（代案の根拠）

海洋会は、平成 28 年度第 3 回理事会（平成 29 年 3 月 22 日開催）にて定款の改定を行った。具体的には

- ・正会員は、東京海洋大学の卒業生、又は在学したことのある者
- ・准員は、東京海洋大学及び神戸大学海事科学部の在学学生であって本会の目的に賛同した者

と改定した。

この改定により、東京海洋大学の全ての学部の学生及び卒業生が、海洋会に入会することができるようになった。

これを以て回答としたい』旨の説明を行った。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第一号議案は承認された。

〈主な質問と回答〉

- ・（理事）品川キャンパスの海洋科学部が、海洋生命科学部と海洋資源環境学部（海洋環境科学科と海洋資源エネルギー学科の 2 学科）となったが、その中で海洋資源エネルギー学科の研究分野には、資源探査工学、デバイス工学、再生エネルギー工学などがあり、これらの各分野で海洋会の同窓が活躍している。このことから、海洋資源環境学部の学生が、海洋会に入ってくることは歓迎すべきことである。従って、事務局の回答案を支持する。
- ・（理事）これまで、海洋会としては、常設委員会、理事会で審議を重ね、「海洋資源環境学部の学生が目指す先には、海洋会に所属する同窓が働いており、更なる拡がりも見られることを考えると、フェアに両方の同窓会からアプローチできると云う方向でコンセンサスを得た」と認識している。
- ・（議長）海洋資源環境学部の学生は、卒業を目前にしている現状にある。一方で、楽水会、海洋会は彼らにアプローチしないことで進んできた。問題を先送りしてきた訳であるが、大学として学生に早急に指し示す必要があると考え竹内学長が海洋会に出向いてこられたと理解している。本来であれば、①、②も含め、先のことも見越して総合的に検討した上で結論を出すことが望ましいと考える。しかし、①と②は、簡単に結論が出せないのが現実である。現時点で大学に示せる回答は、事務局の代替案である。
- ・（理事）海洋資源環境学部の卒業生が海洋会の同窓が働くフィールドに行くとの認識に立つのであれば、品川キャンパスの学部は楽水会であると云う説明は成り立たないのではないか。海洋資源環境学部の卒業生が進む先は、大手の船会社も成長分野であると捉えており、そこは海洋会の同窓が活躍する分野と結び

っている。海洋会として海洋資源環境学部との関係が持てないとしたら、様々な提案を行うこともできないことになる。

- ・(理事) 海洋会として、③、④については、整理が不足していると申し述べるべきではないか。③は、越中島の学部は「海洋会」、品川の学部は「楽水会」とする。④は、品川の学部に入学した学生は「楽水会」に所属すると決めて掛かっているように見受けられる。海洋会の中で話をしてきたのは、「学生の立場にたって公平に将来に亘って寄与できる同窓会にしたい。但し、組織の問題もあり早急な結論は出せないなので時間を要する」と申し上げてきた。

従って、③、④については、前提ありきと見受けられるので、いずれも受け入れられないとし、海洋資源環境学部については、楽水会と海洋会が平等に関与することができるとするのが代案ではないか。また、①、②については、将来学生達に考えて貰えば良いし、海洋会も100周年記念事業の後に議論を深めることで良いのではないか。

本日示された事務局の回答案では、「③については、今後の検討課題」、「④は受け入れられない」として、「代替案」を示しているが、個別の問題として扱われてしまう懸念がある。

- ・(議長) 学生が目指す先には、海洋会及び楽水会の同窓がともに活躍する業界・分野があるとの共通認識の元で、大学はこの提案をしてきたと理解している。その前提に立つと、③及び④については海洋会として受け入れられないので、代替案(入学時点より両同窓会が平等に入会を募ることできる)を取り纏めた。この回答は、常設委員会及び理事会の審議を経て決定されたものであるとしたい。

- ・(理事) 異議なし。

**第二号議案** 事務局から『100周年記念事業「本部・支部主催祝賀会」費用については、全額を本部負担にするか、出席した会員より会費を徴収するのかについて明確にされていない。当該事業の2019年度予算については、平成30年度に開催された常設委員会に諮り、理事会で承認されたが、2020年度上期に予定する「100周年記念行事(含む祝賀会)」費用については審議されなかった。

2019年5月24日に開催した支部長連絡会議にて、千葉・東京・越中島・横浜を除く各支部長より各支部での100周年記念行事の検討結果が下表の通り報告され、また、海外の海洋会に対して、100周年記念行事の実施について検討を依頼し、香港海洋会より回答があった。

支部(国内・海外)	100周年記念行事
本部	祝賀会(150名)／講演(12m余のヨットで米国西海岸から太平洋横断に挑戦した全盲のセーラー岩本光弘さん)

北海道・函館	両支部合同の懇親会／小樽港内・湾内でのクルージング（検討中）
東北	祝賀会／「折り紙作り（日本丸の Sailing のビデオを見せて、セールを1枚1枚折って貰い、糊付けして帆船を完成）」の訪問型海洋教育イベント（小・中学生向け）（東北6県行脚）
千葉・東京・横浜・越中島	本部合同
清水	祝賀会（50名）／清水港クルーズ・他支部との交流
名古屋	祝賀会（含む、海事関係講演／クルーズ名古屋）
富山	祝賀会（45名）／多くの支部会員が集い、100周年を祝い、今後の海洋会を考える。
神戸	祝賀会（100名）／記念講演会（外部の人を講師に招聘）
中国	祝賀会（50名）／商船大学OB会としての記念イベント（シンポジウムなど）
関門	祝賀会（50名）／日本製鉄八幡製鐵所見学
鹿児島	祝賀会（50名）／講演会の実施（拡大海事講演会等、歌唱コンクール）
香港	祝賀会の実施（15名）

支部によっては、祝賀会費用については、全額本部費用より拠出して欲しいという要望が寄せられている。

また、100周年記念事業特設委員会においても、「祝賀会費用については、全額本部費用より拠出すべし」と意見集約されている。「祝賀会費用及びその他費用」については、本部より拠出する。但し、上限を定めて配賦（尺度の設定等については事務局に一任）することにつき承認をお願いしたい』旨の説明を行った。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第二号議案は承認された。

#### 〈主な質問と回答〉

- ・（理事）100周年記念行事の予算の提出時期は何時になるのか。
- ・（事務局）各支部の通期の予算申請のタイミングと同じ日程としたいと考えている。また、（基本財産より取り崩すことになる）当該費用にも限りがあることご理解頂きたい。
- ・（理事）支部への配分額については、支部区々の単価（8,000円とか5,000円）を示すと不公平感が出るので、上限の額で示してもらえばよい。

第三号議案 事務局から『配付資料－3：「(5-04) 旅費規程（改定案）」を示し、

平成 24 年 3 月 15 日付けにて、一般社団法人の規程として文書番号が付与されていたが、この度、記述内容に過不足があることが判明したので、資料の通り改訂したいので承認をお願いしたい』旨の説明を行った。その後、本議案につき、議長より諮ったところ、第三号議案は承認された。

〈主な質問と回答〉

- ・(理事) 第 5 条第 6 項についても、「日当は、旅行中の日数に応じ別表に定める 1 日あたりの定額により支給する。」と改訂すべきである。
- ・(事務局) 了解した。
- ・(理事) 「所属長」は誰を指すのか。
- ・(事務局) 「海洋会会長」である。
- ・(理事) 別表の区分「会長、又は副会長である理事」は、「会長、又は副会長」と改訂すべきである。
- ・(事務局) 了解した。

(4) 報告事項

報告事項 (1) 事務局から、『配付資料－4：「海洋会創立 100 周年記念事業特設委員会報告 (2019 年海洋 7 月号抜粋) を示し、当委員会の活動について、ここに記述した通り進めている。ここでは、寄付金の入金状況 (2019 年 10 月末日現在) について下表の通り報告し、寄付金を充当する事業の費用概算との差異があるので、特設委員会より、「再度のお願い」として海洋 1 月号に同封する予定である』と報告した。(金額：千円)

	2019 年	8 月	9 月	10 月	合計
会員	人数	203	229	121	553
	金額	2,400	2,845	1,685	6,930
法人・団体	件数	1	11	5	17
	金額	200	1,610	810	2,620
合計	金額	2,600	4,455	2,495	9,550

(ご参考) 寄付金を充当する事業項目毎の費用概算を以下の通り示す。

事業項目	費用概算 (千円)
会誌データ化+合本 (1 セット)	2,500
会誌目録	1,400
アーカイブ・システム導入	700
同上運用費用 (10 年)	8,400
合計	13,000
現時点での寄付金の不足額 (※)	3,450

報告事項（２） 事務局から、2019年4月より、横浜海洋会館3階談話室自主運営に移管後の上期（4月～9月）の収支状況について報告した。『6月～7月に掛けて談話室のリニューアルを実施し、新装開店した。このことは、海洋7月号の誌面でもご紹介した。会館3階談話室単独での半年間の収支は、厳しい結果となっているが、横浜支部と連携し、利用者の増加に向け対応していきたい』と説明した。

〈主な質問と回答〉

- ・（理事）収益の改善に向け、注意深く推移を見守って欲しい。
- ・（議長）横浜海洋会館の賃貸収入の改善も見込まれることより、トータルで評価していく必要があると考えている。

報告事項（３） 事務局から、以下の通り報告した。

- ・国内支部・海外海洋会から、下表の通り要望・提案が寄せられた。

	支部・海洋会	活動概況（H30年度）	要望・提案
国内	函館	総会（4名）・役員会（2名）	支部員の減少が著しく、支部としての運営が不可能となってきているので、支部を解散したい。（北海道支部との統合）
	四国	休止中	治多次郎氏（清N2）の逝去に伴い、以後休止状態が継続。新来島ドックや今治造船には、多くの同窓がいることから、中国支部の石津支部長が海洋会として活動するよう働きかけできないか。
	鹿児島	総会（11名）・（5回）／海事講演会（海の日）	今村支部長より、長崎を含めて「九州はひとつ」という趣旨で、100周年九州地区記念懇談会（仮称）を開催したい。
海外	南加	活動報告なし	活動の中心を担っていた方が日本に帰国。活動継続が不可能となったので、活動を停止したい。
	バンコック	1995年当時活動していたが現在は休止中	（バンコック在住の海洋会員：森田浩司氏 東船大N31 オギハラタイランド社長）H30・R1年の8月（9日間）の「海外インターシップの受入（各年学生10～12名）」を行ってきた。この受入活動を今後も

			継続するため「バンコック海洋会」を立ち上げてほしい。
--	--	--	----------------------------

・上記の報告を受け、海洋会事務局として、以下の通り執り進める。

<国内>

- (1) (函館) : 函館支部は、解散して北海道支部に吸収合併する。
- (2) (四国) : 中国支部の石津支部長に四国との窓口を当面お願いする。  
必要な都度本部からの支援を行う。
- (3) (鹿児島) : 「100周年九州地区記念行事・実行委員会(仮称)」立ち上げを、鹿児島今村支部長に委嘱し、本部と連携して、具体的な作業に入る。

<海外>

- (1) (南加) : 休止とする。
- (2) (バンコク) : 「バンコック海洋会」として復活させる。

森田氏が行っている活動は、定款第3条の通り、海洋会の目的である、「①会員の出身校の目的及び使命の達成に協力し、わが国の産業、社会文化の発展に寄与し、②あわせて会員相互の親睦、知識の増進を図ること」の①に合致した活動であるが、海洋会事務局としては、②の活動についても取り進めるよう申し入れる。

<ご参考>

国内支部規定あり。但し、休止、解散及び合併に関する定義はない。  
また、海外海洋会の設立に関する規定はない。

<主な質問と回答>

- ・(理事)(佐藤関門支部長) 上記の鹿児島支部の提案については了解しているが、関門支部の中で審議し、関門の支部員は現役のメンバーが多く、参加しないと結論を出した。
- ・(事務局) 了解した。

報告事項(4) 事務局から、以下の通り報告した。

国内債券(BNYメロン・日本株式ファンド)を2019年10月29日で売却した。

売却の理由

月次ベースでは、運用しているので変動しているが、BNYメロンは期初から赤字基調で推移している。

来年度の資金需要から(会費収入の減、横浜クラブの改装費ほか)、投資信託の一部を取り崩して資金を確保する必要がある。

BNYメロン・日本株式ファンドの売却により、2019年度の予算(基本財産利息収



入)への影響はない。

#### 今後予定

一部を海洋会の来期予算として取り込み、残額は日本株式を購入するのではなく、海外株式と海外債券（為替ヘッジ付）に充当し、資産の保全を図る。

報告事項（５） 事務局から、「配付資料－５：平神戸大学オフショアセーリング部世界への挑戦 2019年海洋10月号抜粋）を示し」以下の通り報告した。

- ・2019年8月に開催された「Youth Match Racing World Championship2019 @ロシア」に日本チーム代表に選抜されたことを受け、神戸大学体育会オフショアセーリング部部长より、遠征費の一部として支援（費用拠出）の要請があり、母校支援として100,000円を拠出した。
- ・大会は5日間。全長約7メートルの8人乗りヨットで、スタート地点から約1・3キロ離れたブイまで2往復するタイムを計測し、20本の合計タイムで順位を競う。今回は、12艇参加中、最下位であった。
- ・山崎優太部長は、「神戸商船大学外洋帆走同好会が前身です。神戸大学海事科学部となった後、2011年に神戸大学体育会オフショアセーリング部となりました。大学の体育会公認の部活となってから10年ほどの歴史しかない部活です。同好会時代から、長らく部員数が20人ほどのコンパクトな組織でしたが、近年では部員数が100名ほどに増え、神戸大学でも有数の大きな組織になりました」と補足してくれた。

報告事項（６） 事務局から、「配付資料－６：平成31年度上期貸借対照表、配付資料－７：平成31年度上期収支計算書、配付資料－８：平成31年度上期正味財産増減計算書」について報告した。

報告事項（７） 事務局から、「配付資料－９：平成31年度上期会長及び専務理事の職務執行状況をもとに定款第28条第5項の規程に基づき、平成31年4月1日から令和元年9月30日の期間における会長及び専務理事の職務執行状況」について報告した。

#### (5) 川路 勉船員教育室長ご挨拶

海事局川路勉船員教育室長から、海洋会の活動（海事普及・後輩の指導）への謝意を戴いた。

海事局でのトピックとして、「台風15号、19号での被災地に対し、青雲丸を木更津、小名浜に派遣し、風呂の提供、洗濯機の利用、給水などの支援活動を行った。その際、東京海洋大学の2回生が乗船実習中であつたので貴重な体験ができたと思われまふ。この度は、海事局のTwitterを活用した情報発信を行つて、木更津では80名、

小名浜では100名の方々にご利用頂きました。昨今、災害が多いので、練習船の活用に大きな期待が寄せられています。また、船員教育関係では、船員となっても辞める若い人が多いとお聞きするのでその原因と対策について船社の方々のご意見もお聞きしながら検討して参りたい。海洋会の皆様にもご意見を頂戴する機会もあるかと思しますので宜しくお願いします」とのお言葉を戴いた。

以上をもって本理事会の議事が終了したので、議長は16時00分に閉会を告げた。

(配付資料)

- ・資料-1 海洋資源環境学部同窓会の体制について(案)(令和元年10月17日付)
- ・資料-2 海洋大 海洋資源環境学部同窓会の体制について(大学提案)に対する海洋会の対応について(回答)
- ・資料-3 (5-04)旅費規程(改定案)
- ・資料-4 海洋会創立100周年記念事業特設委員会報告(2019年海洋7月号抜粋)
- ・資料-5 神戸大学オフショアセーリング部 世界への挑戦(2019年海洋10月号抜粋)
- ・資料-6 平成31年度上期貸借対照表(令和1年9月30日現在)
- ・資料-7 平成31年度上期収支計算書(平成31年4月1日~令和1年9月30日)
- ・資料-8 平成31年度上期正味財産増減計算書(平成31年4月1日~令和1年9月30日)
- ・資料-9 平成31年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告書

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び出席監事がこれに記名押印する。

令和元年12月2日

一般社団法人 海洋会

議長・代表理事 平塚 惣一 印

出席監事 岡本建之介 印

出席監事 桑田 守 印

# 貸借対照表

配付資料－6

令和1年9月30日現在

一般社団法人 海洋会

(単位：円)

科 目	当年度 (R1. 9. 30)	前年度 (30. 9. 30)	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	7,696,983	23,369,768	△ 15,672,785
未収金	48,793	172,800	△ 124,007
前払金	153,548	177,720	△ 24,172
横浜支部勘定	129,276	249,822	△ 120,546
神戸支部勘定	44,786	203,755	△ 158,969
立替金	0	3,822	△ 3,822
仮払金	2,697,000	2,531,600	165,400
流動資産合計	10,770,386	26,709,287	△ 15,938,901
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	29,325,010	29,325,010	0
公社債(基)	120,282,257	118,735,768	1,546,489
普通預金(基)	0	0	0
基本財産合計	149,607,267	148,060,778	1,646,489
(2) 特定資産			
役員退任慰労引当資産	0	2,062,500	△ 2,062,500
退職給付引当資産	3,285,038	3,017,603	267,435
建物減価償却引当資産	65,571,450	60,402,784	5,168,666
備品減価償却引当資産	9,068,194	8,400,353	667,841
受入敷金積立資産	300,000	300,000	0
受入保証金積立資産	5,057,810	5,178,370	△ 120,560
学生奨励金資産	1,800,000	2,000,000	△ 200,000
特定資産合計	85,082,492	81,361,610	3,720,882
(3) その他固定資産			
建物	248,092,657	245,824,657	2,268,000
備品	13,401,277	13,401,277	0
減価償却累計額	△ 163,902,015	△ 157,710,868	△ 6,191,147
ソフトウェア	213,840	0	213,840
その他固定資産合計	95,749,252	97,591,919	△ 1,842,667
固定資産合計	330,439,011	327,014,307	3,424,704
<b>資産合計</b>	<b>341,209,397</b>	<b>353,723,594</b>	<b>△ 12,514,197</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,144,937	1,324,527	△ 179,590
前受金	10,000	464,080	△ 454,080
前受収益	264,080	0	264,080
預り金	345,412	523,841	△ 178,429
賞与引当金	315,080	0	315,080
流動負債合計	2,079,509	2,312,448	△ 232,939
2. 固定負債			
役員退任給与引当金	0	2,062,500	△ 2,062,500
退職給付引当金	3,285,038	3,017,603	267,433
受入敷金	300,000	300,000	0
受入保証金	5,057,810	5,178,370	△ 120,560
学生奨励金	1,800,000	2,000,000	△ 200,000
固定負債合計	10,442,848	12,558,473	△ 2,115,625
<b>負債合計</b>	<b>12,522,357</b>	<b>14,870,921</b>	<b>△ 2,348,564</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体助成金	8,316,267	8,514,667	△ 198,400
指定正味財産合計	8,316,267	8,514,667	△ 198,400
2. 一般正味財産	320,370,773	330,338,006	△ 9,967,233
(うち基本財産への充当額)	72,000,618	70,454,129	1,546,489
(うち特定資産への充当額)	76,324,019	70,803,137	5,520,882
<b>正味財産合計</b>	<b>328,687,040</b>	<b>338,852,673</b>	<b>△ 10,165,633</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>341,209,397</b>	<b>353,723,594</b>	<b>△ 12,514,197</b>

## 収支計算書

配付資料－7

平成31年 4月 1日から令和1年 9月30日まで

一般社団法人 海洋会

(単位：円)

科 目	31年度通期予算額	31年度上期決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産等運用収入	1,408,000	732,000	676,000
基本財産利息収入	1,408,000	732,000	676,000
会費収入	29,700,000	10,728,600	18,971,400
不動産賃貸収入	15,941,000	9,302,376	6,638,624
不動産賃貸収入	15,941,000	9,302,376	6,638,624
会館使用収入	1,041,000	584,390	456,610
広告料収入	2,278,000	11,000	2,267,000
会誌広告料収入	2,278,000	11,000	2,267,000
会館運営雑収入	71,000	58,557	12,443
寄付金収入	0	7,161,322	△ 7,161,322
寄付金収入	0	106,322	△ 106,322
100周年記事業寄付金収入	0	7,055,000	△ 7,055,000
雑収入	355,000	228,709	126,291
受取利息収入	0	109	△ 109
その他	355,000	228,600	126,400
事業活動収入計	50,794,000	28,806,954	21,987,046
2. 事業活動支出			
事業費	50,429,596	20,472,187	29,957,409
役員報酬	1,742,094	768,407	973,687
役員退職給付費用	52,313	0	52,313
役員退任慰労金	919,688	0	919,688
給料手当	11,781,246	6,377,619	5,403,627
福利厚生費	1,429,505	809,009	620,496
会議費	979,637	126,958	852,679
旅費交通費	2,954,253	867,503	2,086,750
通信運搬費	2,211,521	1,177,414	1,034,107
消耗品費	540,914	75,497	465,417
事務機費	2,459,819	1,972,219	487,600
新聞図書費	317,952	129,628	188,324
修繕費	803,772	144,936	658,836
印刷製本費	10,028,078	1,371,600	8,656,478
光熱水料	870,488	677,516	192,972
借地料	2,023,165	1,275,747	747,418
借室料	778,999	69,420	709,579
共益費	2,548,140	1,429,508	1,118,632
保険料	87,941	38,060	49,881
諸謝金	150,347	50,116	100,231
租税公課	2,788,495	1,338,530	1,449,965
母校支援金	1,587,835	557,812	1,030,023
講演会費	243,737	23,189	220,548
事務委託費	464,527	110,096	354,431
清掃費	911,467	473,947	437,520
渉外費	130,064	19,562	110,502
会館運営雑費	92,566	91,529	1,037
雑費	1,531,033	496,365	1,034,668

## 収支計算書

配付資料－7

平成31年 4月 1日から令和1年 9月30日まで

一般社団法人 海洋会

(単位：円)

科 目	31年度通期予算額	31年度上期決算額	差 異
管理費	16,677,386	11,166,067	5,511,319
役員報酬	1,484,006	654,573	829,433
役員退職給付費用	44,563	0	44,563
役員退任慰労金	783,438	1,800,000	△ 1,016,562
給料手当	3,519,074	1,904,999	1,614,075
福利厚生費	426,995	241,647	185,348
会議費	146,382	70,607	75,775
旅費交通費	785,308	924,893	△ 139,585
通信運搬費	587,873	416,199	171,674
消耗品費	243,020	29,983	213,037
事務機費	1,105,136	755,500	349,636
修繕費	130,847	0	130,847
印刷製本費	527,794	571,175	△ 43,381
光熱水料	373,066	103,904	269,162
借地料	867,071	235,494	631,577
借室料	333,857	167,030	166,827
共益費	1,092,060	612,660	479,400
保険料	37,689	13,420	24,269
租税公課	1,195,069	522,757	672,312
事務委託費	1,083,896	878,595	205,301
清掃費	390,629	88,031	302,598
渉外費	303,483	136,560	166,923
集金費	809,146	495,093	314,053
雑費	406,984	471,797	△ 64,813
100周年記念事業手数料	0	71,150	△ 71,150
事業活動支出計	67,106,982	31,638,254	35,468,728
事業活動収支差額	△ 16,312,982	△ 2,831,300	△ 13,481,682
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	1,703,125	0	1,703,125
基本財産取崩収入	1,703,125	0	1,703,125
特定資産取崩収入	0	1,800,000	△ 1,800,000
役員退職預収入	0	1,800,000	△ 1,800,000
受入保証金収入	0	185,000	△ 185,000
投資活動収入計	1,703,125	1,985,000	△ 281,875
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	0	3,965,000	△ 3,965,000
建物取得支出	0	3,780,000	△ 3,780,000
公社債取得支出	0	185,000	△ 185,000
特定資産取得支出	6,044,352	0	6,044,352
建物減価償却積立預金取得支出	4,949,814	0	4,949,814
備品減価償却積立預金取得支出	637,653	0	637,653
役員退任慰労引当預金取得支出	225,000	0	225,000
退職給付引当預金取得支出	231,885	0	231,885
投資活動支出計	6,044,352	3,965,000	2,079,352
投資活動収支差額	△ 4,341,227	△ 1,980,000	△ 2,361,227
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 20,654,209	△ 4,811,300	△ 15,842,908
前期繰越収支差額	0	13,817,257	△ 13,817,257
次期繰越収支差額	△ 20,654,209	9,005,957	△ 29,660,166

# 正味財産増減計算書

配布資料—8

平成31年 4月 1日から令和1年 9月30日まで

一般社団法人 海洋会

(単位:円)

科 目	当年度 (31年度上期)	前年度 (30年度上期)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産等運用収入	732,000	1,008,000	△ 276,000
基本財産利息収入	732,000	1,008,000	△ 276,000
会費収入	10,728,600	11,796,200	△ 1,067,600
不動産賃貸収入	9,302,376	8,432,952	869,424
不動産賃貸収入	9,302,376	8,432,952	869,424
会館使用収入	584,390	309,690	274,700
広告料収入	11,000	75,600	△ 64,600
会誌広告料収入	11,000	75,600	△ 64,600
会館運営雑収入	58,557	32,010	26,547
寄付金収入	7,161,322	0	7,161,322
受け取り寄付金	106,322	0	106,322
100周年記念事業寄付金	7,055,000	0	7,055,000
雑収入	228,709	178,192	50,517
受取利息収入	109	192	△ 83
その他	228,600	178,000	50,600
経常収益計	28,806,954	21,832,644	6,974,310
(2) 経常費用			
事業費	20,324,639	22,063,780	△ 1,739,141
役員報酬	768,407	948,268	△ 179,861
給料手当	6,377,619	6,145,443	232,176
福利厚生費	809,009	728,780	80,229
会議費	126,958	134,332	△ 7,374
旅費交通費	867,503	353,298	514,205
通信運搬費	1,177,414	1,528,594	△ 351,180
消耗品費	75,497	374,564	△ 299,067
事務機費	1,824,671	1,223,572	601,099
新聞図書費	129,628	141,117	△ 11,489
修繕費	144,936	1,667,519	△ 1,522,583
印刷製本費	1,371,600	2,541,746	△ 1,170,146
光熱水料	677,516	545,234	132,282
借地料	1,275,747	1,275,749	△ 2
借室料	69,420	104,130	△ 34,710
共益費	1,429,508	1,426,683	2,825
保険料	38,060	27,453	10,607
諸謝金	50,116	66,821	△ 16,705
租税公課	1,338,530	1,346,860	△ 8,330
母校支援金	557,812	121,312	436,500
講演会費	23,189	10,000	13,189
事務委託費	110,096	218,078	△ 107,982
清掃費	473,947	559,923	△ 85,976
渉外費	19,562	30,000	△ 10,438
会館運営雑費	91,529	33,532	57,997
雑費	496,365	510,772	△ 14,407

# 正味財産増減計算書

配布資料-8

平成31年 4月 1日から令和1年 9月30日まで

一般社団法人 海洋会

(単位:円)

科 目	当年度 (31年度上期)	前年度 (30年度上期)	増 減
管理費	9,299,775	7,395,794	1,903,981
役員報酬	654,573	807,792	△ 153,219
給料手当	1,904,999	1,835,649	69,350
福利厚生費	241,647	216,929	24,718
会議費	70,607	53,032	17,575
旅費交通費	924,893	395,560	529,333
通信運搬費	416,199	88,720	327,479
消耗品費	29,983	36,330	△ 6,347
事務機費	689,208	549,748	139,460
印刷製本費	571,175	45,360	525,815
光熱水料	103,904	119,959	△ 16,055
借地料	235,494	235,492	2
借室料	167,030	126,640	40,390
共益費	612,660	611,447	1,213
保険料	13,420	8,667	4,753
租税公課	522,757	512,507	10,250
事務委託費	878,595	677,590	201,005
清掃費	88,031	102,989	△ 14,958
渉外費	136,560	159,560	△ 23,000
集金費	495,093	414,634	80,459
雑費	471,797	397,189	74,608
100周年記念事業手数料	71,150	0	71,150
経常費用計	29,624,414	29,459,574	164,840
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 817,460	△ 7,626,939	6,809,470
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 817,460	△ 7,626,930	6,809,470
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 817,460	△ 7,626,930	6,809,470
一般正味財産期首残高	321,188,233	337,964,936	△ 16,776,703
一般正味財産期末残高	320,370,773	330,338,006	△ 9,967,233
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	8,316,267	8,514,667	△ 198,400
指定正味財産期末残高	8,316,267	8,514,667	△ 198,400
III 正味財産期末残高	328,687,040	338,852,673	△ 10,165,633

## 2019年度上期会長及び専務理事の職務執行状況報告書

定款第28条第5項の規程に基づき、2019年4月1日から2019年9月30日迄の期間における会長及び専務理事の職務執行状況について、下記の通り報告します。

## 会長の職務執行状況

## 1. 海洋会関係会議

- (1) 第8回特設委員会出席 (4/15)
- (2) 第1回企画委員会出席 (4/16)
- (3) 第1回会務委員会出席 (5/13)
- (4) 第9回特設委員会出席 (5/13)
- (5) 第1回理事会出席 (5/24)
- (6) 支部長連絡会議 (5/24)
- (7) 第99回定時社員総会出席 (6/21)
- (8) 第2回理事会出席 (6/21)
- (9) 第99回定時社員総会後の懇親会出席 (6/21)
- (10) 第10回特設委員会出席 (7/1)
- (11) 第2回編集委員会出席 (8/19)
- (12) 第11回特設委員会出席 (9/20)

## 2. 外部団体主催関係会議・委員会出席

- (1) 東京海洋大学学部・水産専攻科・乗船実習科・大学院入学式出席 (4/5)
- (2) 横浜支部春季懇親会出席 (5/14)
- (3) 第49回戦没・殉職船員追悼式参列 (5/16)
- (4) 日本船長協会定時社員総会後の懇親会出席 (5/20)
- (5) 日本海難防止協会通常理事会出席 (5/23)
- (6) 海技教育財団理事会出席 (5/23)
- (7) 東京海洋大学校友会総会・HCD・懇親会出席 (6/1)
- (8) 公益財団法人海上保安協会理事会出席 (6/7)
- (9) 横浜支部常任委員会後の懇親会出席 (6/11)
- (10) 公益財団法人日本殉職船員顕彰会理事会出席 (6/11)
- (11) 公益財団法人海難審判・船舶事故調査協会評議委員会出席 (6/13)
- (12) 日本海難防止協会臨時理事会出席 (6/17)
- (13) 日本海事広報協会評議委員会出席 (6/18)
- (14) 海洋会ボランティアクラブ総会出席 (6/22)
- (15) 海洋会会長交代挨拶回り (6/24)
- (16) 東京海洋大学経営協議会出席 (6/27)
- (17) 東京海洋大学海洋工学部後援会理事会出席 (6/22)
- (18) 神戸支部出張会長交替挨拶・懇親会 (7/2)
- (19) 神戸大学海事科学部内田学部長訪問会長交代挨拶・面談 (7/3)



- (20) 横浜支部会員と平塚会長懇談会出席 (7/11)
- (21) 明治丸グループ在籍10年功労者感謝状授与式出席 (7/15)
- (22) 海技教育機構 乾眞理事来会 理事就任挨拶 (7/25)
- (23) 観音崎戦没船員の碑 慰霊祭出席 (8/15)
- (24) 東京海洋大学海洋工学部特別講義 (9/6)
- (25) 東京海洋大学令和元年9月期学位記・修了証書授与式 (9/27)
- (26) 帆船日本丸保存活用促進委員会出席 (9/30)

#### 専務理事の職務執行状況

1. 平成30年度事業報告書及び決算書案の作成作業を行うと共に、監事や公認会計士に対する説明を行った。
2. 重要会議の開催準備を行うとともに、夫々の会議で資料の説明を行った。
3. 一般社団法人公益目的支出実施報告書を作成して内閣府へ書類提出した(6/26)。
4. 平成31年度事業計画及び収支予算書に基づき次の事業を実施した。
  - (1) 継続事業1 船員海事に関する調査研究
  - (2) 継続事業2 講演会の開催
  - (3) 継続事業3 海事思想普及
  - (4) その他事業1 不動産の賃貸
  - (5) その他事業2 会館の設置及びその運営
  - (6) その他事業3 会誌の発行
  - (7) その他事業4 会員の福利厚生
5. 海洋会関係会議・委員会・外部団体主催関係会議出席
  - ① 東京海洋大学新入生オリエンテーション准員入会説明会出席 (4/3)
  - ② 東京海洋大学入学式新入学生准員入会勧誘 (4/5)
  - ③ 第8回特設委員会出席(4/15)
  - ④ 日本殉職船員顕彰会第11回催事委員会(4/16)
  - ⑤ 第1回企画委員会(4/16)
  - ⑥ 平成31年度決算本部監事監査 (5/9)
  - ⑦ 役員推薦委員会出席 (5/10)
  - ⑧ 平成31年度第1回会務委員会出席 (5/13)
  - ⑨ 第9回特設委員会出席 (5/13)
  - ⑩ 第49回戦没・殉職船員追悼式参列 (5/15)
  - ⑪ 東京海洋大学校友会役員会出席 (5/17)
  - ⑫ 日本船長協会定時社員総会後の懇親会出席 (5/20)
  - ⑬ 特定非営利活動法人日本海洋塾総会出席 (5/22)
  - ⑭ 一般社団法人日本船舶機関士協会総会後の懇親会出席 (5/23)
  - ⑮ 第1回理事会出席 (5/24)
  - ⑯ 支部長連絡会議出席 (5/24)
  - ⑰ 平成31年度第1回報道関係者との懇談会出席 (5/29)
  - ⑱ 東京海洋大学校友会総会・ホームカミングデー・懇親会出席 (6/1)
  - ⑲ 一般社団法人楽水会総会後の懇親会出席 (6/1)
  - ⑳ 公益財団法人海技教育財団奨学生選考委員会出席 (6/6)
  - ㉑ 東京海洋大学海洋工学部後援会監事監査実施 (6/13)

- ⑳ 公益財団法人海技教育財団評議員会出席 (6/17)
- ㉑ 株式会社国際海事検定社との賃貸料値上げに関する協議 (6/17)
- ㉒ 第99回定時社員総会出席 (6/21)
- ㉓ 第2回理事会出席 (6/21)
- ㉔ 第99回定時社員総会・総会後の懇親会 (6/21)
- ㉕ ボランティアクラブ総会出席 (6/22)
- ㉖ 日本殉職船員顕彰会第21回定時評議員会出席 (6/27)
- ㉗ 横浜海洋会館談話室改装工事完工お披露目出席 (6/28)
- ㉘ 第10回特設委員会出席 (7/1)
- ㉙ 令和元年度第2回報道関係者との懇談会出席 (7/9)
- ㉚ 横浜支部会員と平塚会長懇談会出席 (7/11)
- ㉛ 海の前夜祭出席 (7/12)
- ㉜ 大学側／ボランティアクラブ第53回連絡協議会出席(7/17)
- ㉝ 東京海洋大学オープンキャンパス・キャリアセミナー出席 (7/26)
- ㉞ 日本船長協会船長実務勉強会出席 (8/27)
- ㉟ 第2回編集委員会出席 (8/19)
- ㊱ 東京海洋大学海洋工学部特別講義出席 (9/6)
- ㊲ 横浜支部講演会・懇親会出席 (9/10)
- ㊳ 大学側／ボランティアクラブ第54回連絡協議会出席(9/11)
- ㊴ 日本船主協会内藤会長インタビュー (海洋1月号掲載) 出席 (9/17)
- ㊵ 第11回特設委員会出席 (9/20)
- ㊶ 海事補佐人会研修会出席 (9/27)

以 上